

学校だより

小倉小学校

3月号

平成30年3月1日

旅立ちの時を迎えて

学校長 西本和広

今年の冬は、例年のない寒波が押し寄せました。子どもたちが毎朝登校する様子を見ても、寒そうに背中を丸めていたり、あいさつと一緒に「先生、今日はすごく寒い」という子がいたりしました。逆に、厚く凍った氷を持って見せてくれる子たちもいました。また、インフルエンザが猛威をふるいました。欠席者が増え、学級閉鎖をしていた日は、「今日は登校する子どもが少ないなあ」と少しさびしい思いをしたこともありました。「耐雪梅花麗（雪に耐えて梅花麗し）」という言葉がありますが、厳しい冬があって、それに耐えて咲いた花のように、子どもたちの成長の花が咲く3月であればと思っています。

6年生の皆さんにとっては、いよいよ小学校最後の月となりました。6年間、雨の日も、日差しが照りつける暑い日も、そして冷たい風の吹く寒い日も通い続けた小学校からの旅立ちの月です。6年間という歳月の重みを考えてみました。小倉小学校は校区がとても広く、学校に来るまでの道のりは遠い人では2km以上あります。この道のりを6年分合わせると約4800kmになります。これは、北海道の北の端から九州の南の端までを往復する距離となります。近い人でも、片道500mでは6年間で約1200km。これは和歌山から東京までを往復する距離です。それだけの距離を歩くということは途方もないことです。しかし、6年間積み重ねるとそうなるのです。小さな積み重ねの大切さを物語っています。これからも、一日一日の小さな積み重ねを大切に、自らの生きる道を切り拓いていくことをと願います。



人権講演会（6年生）

2月22日、6年生・保護者・地域の皆さんと一緒に、柳岡克子さんのお話を聞く機会がありました。柳岡さんは、生まれつきの障害で体が不自由ですが、前向きに自分の人生を切り拓いていった経験をお話し下さいました。元気で明るい柳岡さんのお話に笑いか絶えない講演会となりました。子どもたちは「泣いても何にも変わらない」「勉強できるのは幸せなこと」「人はみな平等」「天の銀行に貯金する」などの言葉が心に残ったという感想を書いていました。



3月の予定

- 1日（木）登校指導
通学路セーフティネットの日
- 3日（土）土曜教室
- 7日（水）委員会活動
スクールカウンセラー
- 8日（木）奉仕作業（6年）
- 9日（金）バイキング給食（6年）
- 14日（水）卒業式・お別れ式予行
- 16日（金）1, 2, 3, 6年 午後下校
- 19日（月）卒業式・お別れ式
- 21日（水）春分の日
- 22日（木）給食終了
- 23日（金）終業式
- 30日（金）離任式

生命の誕生（2年生）

2年生が助産師の安宅満美子さんより、「生命の誕生」についての出張授業を受けました。

お母さんのおなかの中にいるときや生まれる時の模擬体験もさせてもらいました。

一人一人の命はかけがえのない大切なものであるということをわかりやすく伝えていただきました。



6年生を送る集会



集会、6年生の講演会や2年生の体験授業など、学校での取り組みやイベントへの保護者の皆さんの参観は大歓迎です。遠慮なく学校にお越しください。

校名入り体操服について

これまでママショップ様で販売をしていましたが、閉店されましたので、セブンイレブン下三毛店様で取り扱いをしていただいています。陳列はしていませんので、店でお申し出くださいとのことです。なお、白色の体操着であれば、体育の時間での着用は問題ないことを申し添えます。

季節の詩

雪あたたかくとけにけり
しとしとと融（と）けゆけり
ひとりつつしみふかく やはらかく
木の芽に息をふきかけり
もえよ 木の芽のうすみどり
もえよ 木の芽のうすみどり
（ふるさと 室生犀星）

